

[First Hit](#) [Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

Generate Collection

☐ Print

L2: Entry 25 of 29

File: DWPI

Mar 23, 1990

DERWENT-ACC-NO: 1990-135656
DERWENT-WEEK: 199843
COPYRIGHT 2006 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Hair tonic compsn. - contg. extract(s) of Cedrela sinensis Jussied, Melia Azedarach Linne, etc. plants

PATENT-ASSIGNEE: SHISEIDO CO LTD (SHIS)

PRIORITY-DATA: 1988JP-0236078 (September 20, 1988)

☐ Search Selected☐ Search ALL☐ Clear

PATENT-FAMILY:

| PUB-NO | PUB-DATE | LANGUAGE | PAGES | MAIN-IPC |
|---|-----------------------|----------|-------|------------|
| <input type="checkbox"/> <u>JP 02083310 A</u> | <u>March 23, 1990</u> | | 005 | |
| <input type="checkbox"/> <u>JP 2787450 B2</u> | August 20, 1998 | | 004 | A61K007/06 |

APPLICATION-DATA:

| PUB-NO | APPL-DATE | APPL-NO | DESCRIPTOR |
|--------------|--------------------|----------------|----------------|
| JP 02083310A | September 20, 1988 | 1988JP-0236078 | |
| JP 2787450B2 | September 20, 1988 | 1988JP-0236078 | |
| JP 2787450B2 | | JP 2083310 | Previous Publ. |

INT-CL (IPC): A61K 7/06

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 02083310A
BASIC-ABSTRACT:

Hair tonic material contains one or more extracts of Cedrela sinensis JUSSIED, Melia Azedarach LINNE, Melia elia azedarach LINNE, and Pilocarpus plants.

ADVANTAGE - Prevents dandruff and loss of hair.

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 02083310A
EQUIVALENT-ABSTRACTS:

CHOSEN-DRAWING: Dwg.0/0

DERWENT-CLASS: D21
CPI-CODES: D08-B03;

[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

⑫ 公開特許公報(A) 平2-83310

⑮ Int. Cl.⁹
A 61 K 7/06識別記号 庁内整理番号
8314-4C

⑬ 公開 平成2年(1990)3月23日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑭ 発明の名称 養毛料

⑰ 特 願 昭63-236078

⑱ 出 願 昭63(1988)9月20日

⑲ 発 明 者 宮 原 令 二 神奈川県横浜市港北区新羽町1050番地 株式会社資生堂研究所内

⑲ 発 明 者 石 野 章 博 神奈川県横浜市港北区新羽町1050番地 株式会社資生堂研究所内

⑲ 発 明 者 高 橋 祥 二 東京都中央区銀座7丁目5番5号

⑲ 出 願 人 株式会社資生堂 東京都中央区銀座7丁目5番5号

明 細 書

1. 発明の名称

養毛料

2. 特許請求の範囲

(1) センダン科のチャンチン抽出物、タイワンセンダン抽出物、センダン抽出物、ブラジルのアンジュローバ抽出物及びミカン科のジャボランジ抽出物の一種または二種以上を含有することを特徴とする養毛料。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、センダン科のチャンチン抽出物、タイワンセンダン抽出物、センダン抽出物、ブラジルのアンジュローバ抽出物及びミカン科のジャボランジ抽出物の一種または二種以上を含有することにより、脱毛防止、発毛、育毛等を促進する効果に優れた養毛料に関するものである。

〔従来の技術〕

従来より、各種薬剤を配合した養毛料が知られ

ている。例えば、ビタミンBなどのビタミン類、メチオニンなどのアミノ酸類、アセチルコリン誘導体等の血管拡張剤、紫根エキス等の抗炎症剤、エストラジオールなどの女性ホルモン剤、セファランチン等の皮膚機能亢進剤などが配合され、脱毛症の予防及び治療に用いられている。

〔発明が解決しようとする課題〕

しかしながら、従来の養毛料はフケ、カユミ、抜毛等の予防及び改善に有効で、発毛や育毛を促進するとされているが、いまだ満足すべき効果を発揮するものは得られていない。

本発明者らはこの課題を解決するために、脱毛防止、発毛、育毛等に有効で、安全性に優れた天然由来の薬剤を鋭意検討した結果、センダン科のチャンチン抽出物、タイワンセンダン抽出物、センダン抽出物、ブラジルのアンジュローバ抽出物及びミカン科のジャボランジ抽出物がこの課題を解決しうることを見出し、本発明を完成するに至った。

〔課題を解決するための手段〕

即ち、本発明は、センダン科のチャンチン抽出物、タイワンセンダン抽出物、センダン抽出物、ブラジルのアンジュローバ抽出物及びミカン科のジャボランジ抽出物の一種または二種以上を含有することを特徴とする養毛料である。

以下、本発明の構成について詳述する。

本発明で用いるセンダン科のチャンチン(*Toona sinensis* ROEMERまたは*Cedreia sinensis* Jussied)は中国各地で栽培される雌雄異株の落葉高木で、根皮を椿根皮(フソコビ)、椿白皮(フソバクビ)と呼んで、漢方で収斂、止血薬とする植物である。タイワンセンダン(*Melia azedarach* LINNE')はインド、ビルマ、ジャワ、台湾に産し、南欧、アメリカでも栽培し、根皮(*Melia Cortex radialis*)を健胃、駆虫薬とする植物である。センダン(*M. elia azedarach* LINNE'または*M. japonica* MAKINO)は四国、九州などの本邦温暖地に自生し、一般に本邦では広く栽培する落葉高木で、樹皮を苦楝皮(和)(くれんぴ)と呼び、駆虫薬とする植物である。

また、ミカン科のジャボランジは南米熱帯地方産のミカン科、ピロカルプス(*Pilocarpus*)属の低木の総称で、特に*Pilocarpus jaborandi*、*P. microphyllus*や*P. pennatifolius* Lem.などを指す。その干葉は、利尿剤、発汗剤として用いられている。

本発明にはこれら植物の葉、皮、果実、根あるいは茎等を用いるが、葉の抽出物が効果の点で最も優れている。

本発明で用いる植物抽出物の製造方法としてはこれらの植物を溶媒、例えば、酢酸エチルエステル、酢酸ブチルエステル、酢酸アミルエステル等のエステル類、アセトン、メチルエチルケトン、アセチルアセトン等のケトン類、メタノール、エタノール等の低級アルコール、プロピレングリコール、1-3ブチレングリコール等の多価アルコールあるいは水の1種または2種以上と共に加熱還流あるいは浸漬し、濾過して得られる抽出液を濃縮して得られる。本発明における植物抽出物の配合量は、養毛料全量中、乾燥物として0.005~10重量%、好ましくは0.01~5重量%であ

る。0.005重量%以下であると、本発明でいう効果が十分に発揮されず、また10重量%をこえると配合上不利であり、好ましくない。

本発明の養毛料は前記の必須成分に加えて必要に応じて、本発明の効果を損なわない範囲内で、化粧品、医薬部外品、医薬品等に一般に用いられる各種成分、例えば、ポリオキシエチレン(8モル)オレイルアルコールエーテル、モノオレイン酸グリセリル等の油分、ニコチン酸アミド、ニコチン酸ベンジル、ビタミンEアセテート、センブリ抽出物等の血流促進剤、グリチルレチン酸、ヒノキチオール等のテストステロン- α -リダクターゼ阻害剤、エチニルエストラジオール等のホルモン類、ビタミンH、パントテニルエチルエーテル等の毛根賦活剤、モノラウリン酸ソルビタン、モノバルミチン酸ソルビタン、セスキオレイン酸ソルビタン、トリオレイン酸ソルビタン、モノラウリン酸ポリオキシエチレンソルビタン、モノステアリン酸ポリオキシエチレンソルビタン、ポリエチレングリコールモノオレート、ポリオキシエチ

レンアルキルエーテル、ポリグリコールジエステル、ラウリルジエタノールアמיד、脂肪酸イソプロパノールアמיד等の非イオン界面活性剤、ステアリルトリメチルアンモニウムクロライド、塩化ベンザルコニウム等のカチオン界面活性剤、バルミチン酸ナトリウム、ラウリン酸ナトリウム、ラウリル硫酸ナトリウム、ラウリル硫酸カリウム、アルキル硫酸トリエタノールアミン、ロート油、リニアドテシルベンゼン硫酸、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油マレイン酸等のアニオン界面活性剤、ラウリルジメチルアミノオキサライド、オレイルジメチルアミノオキサライド等の半極性界面活性剤、両性界面活性剤、保湿剤、増粘剤、防腐剤、酸化防止剤、香料、色剤等を配合することができる。また本発明の養毛料の剤型は任意であり、例えばトニック、ヘアークリーム、シャンプー等の剤型をとることができる。

[実施例]

次に、この発明の養毛料及びその製造方法と効果を実施例により詳細に説明する。

育毛効果の測定(マウスでの育毛効果測定)

雄のC3Hマウス(生後60日)を用い、小川らの方法(Normal and Abnormal Epidermal Differentiation, M.Selji and J.A.Bernstein 編集東大出版会)に従い実験を行なった。マウスの背部毛を約2×4cmの大きさに剃り、翌日より1日1回ずつ連日サンプル塗布を行ない、毛再生が始まった部分の面積比の変化を求め、毛再生の早さの比較を行なった。サンプルは各植物抽出液の乾燥物を75%エタノールに攪拌溶解し、これに界面活性剤を添加、溶解しサンプルとし、実施例1~9とした。比較例としては75%エタノールを用いた。

比較例 1

(1)75%イタノール 残余

実施例 1

(1)チャンチン酢酸イテル抽出物(乾燥物) 0.5%

(2)75%イタノール 残余

実施例 2

実施例 8

(1)センダンイタノール抽出物(乾燥物) 0.5%

(2)ジャボランジ(*Pilocarpus jaborandi*)熱水抽出物(乾燥物) 3.0%

(3)ジャボランジ(*Pilocarpus microphyllus*)アセトン抽出物(乾燥物) 1.5%

(4)75%イタノール 残余

実施例 9

(1)チャンチン水抽出物(乾燥物) 0.5%

(2)タイワンセンダンアセチルアセトン抽出物(乾燥物) 1.0%

(3)センダン80%メタノール抽出物(乾燥物) 0.3%

(4)ジャボランジ(*Pilocarpus jaborandi*)25%イタノール抽出物(乾燥物) 2.0%

(5)ジャボランジ(*Pilocarpus microphyllus*)酢酸フェル抽出物(乾燥物) 0.1%

(6)ジャボランジ(*Pilocarpus pennatifolius* Lem.)50%イタノール抽出物(乾燥物) 4.5%

(7)75%イタノール 残余

各試料ともマウス10匹ずつを用い、毛細生速度の変化率の平均値を求めた。20日後毛細生面

(1)タイワンセンダンアセトン抽出物(乾燥物) 1.0%

(2)75%イタノール 残余

実施例 3

(1)センダンメタノール抽出物(乾燥物) 0.3%

(2)75%イタノール 残余

実施例 4

(1)アンジエロバ抽出物(乾燥物) 0.6%

(2)75%イタノール 残余

実施例 5

(1)ジャボランジ(*Pilocarpus jaborandi*)75%イタノール抽出物(乾燥物) 2.0%

(2)75%イタノール 残余

実施例 6

(1)ジャボランジ(*Pilocarpus microphyllus*)酢酸フェル抽出物(乾燥物) 3.0%

(2)75%イタノール 残余

実施例 7

(1)ジャボランジ(*Pilocarpus pennatifolius* Lem.)50%イタノール抽出物(乾燥物) 5.0%

(2)75%イタノール 残余

積の結果を百分率にて表-1に示した。

表-1 各試料の毛再生面積(20日後)

| 試料 | 毛再生面積 |
|-------|-------|
| 比較例 1 | 5% |
| 実施例 1 | 55% |
| 実施例 2 | 65% |
| 実施例 3 | 48% |
| 実施例 4 | 50% |
| 実施例 5 | 80% |
| 実施例 6 | 86% |
| 実施例 7 | 97% |
| 実施例 8 | 87% |
| 実施例 9 | 95% |

表-1から明らかなように各実施例において毛の再生に対する効果が認められた。

実施例 10 ヘアートニック

(1)チャンチン水抽出物(乾燥物) 0.1%

(2)タイワンセンダンアセチルアセトン抽出物(乾燥物) 0.1%

(3)センダン80%メタノール抽出物(乾燥物) 0.3%

(4)ジャボランジ(*Pilocarpus jaborandi*)95%イタノール抽出物(乾燥物)

ノール抽出物(乾燥物) 0.2%

(5)ジャポランジ(*Pilocarpus microphyllus*)酢酸イシル抽出物(乾燥物) 0.1%

(6)ジャポランジ(*Pilocarpus pennatifolius* Lem.)58%イタノール抽出物(乾燥物) 0.2%

(7)プロピレングリコール 5.0%

(8)ヒアルロン酸ナトリウム 0.01%

(9)75%イタノール 残余

上記処方にて製造したヘアートニックについて
実
使用にてフケ、発毛、脱毛等の症状に対する効果を検討した。

フケ、発毛、脱毛等の症状を呈する15名の男性(年齢25才~62才)に1日1~2回、1~5mlずつ4カ月にわたって投与し、表-2の結果を得た。表-2から明らかなように、このヘアートニックはフケ、発毛及び脱毛に優れていた。

表-2 使用試験結果

| 被験者 | 年齢 | フケ | 発毛 | 脱毛 |
|------|----|----|----|----|
| I | 37 | 有効 | 有効 | 無効 |
| II | 48 | 有効 | 著効 | 有効 |
| III | 45 | 有効 | 有効 | 有効 |
| IV | 35 | 無効 | 有効 | 有効 |
| V | 37 | 著効 | 著効 | 有効 |
| VI | 46 | 有効 | 有効 | 有効 |
| VII | 43 | 有効 | 有効 | 無効 |
| VIII | 58 | 有効 | 有効 | 有効 |
| IX | 34 | 有効 | 有効 | 有効 |
| X | 38 | 有効 | 有効 | 有効 |
| XI | 59 | 有効 | 有効 | 無効 |
| XII | 53 | 著効 | 無効 | 有効 |
| XIII | 52 | 有効 | 有効 | 無効 |
| XIV | 44 | 有効 | 有効 | 有効 |
| XV | 60 | 有効 | 有効 | 有効 |

実施例 11 ヘアートニック

次の処方に従い常法によりヘアートニックを得

た。

- (1)チンチン1,3-ブチレングリコール抽出物(乾燥物) 0.1%
- (2)ジャポランジ(*Pilocarpus pennatifolius* Lem.)アセトン抽出物(乾燥物) 0.2%
- (3)プロピレングリコール 5.0%
- (4)ヒアルロン酸ナトリウム 0.01%
- (5)75%イタノール 残余
- (6)香料 適量
- (7)色素 適量

実施例 12 ヘアートニック

次の処方に従い常法によりヘアートニックを得た。

- (1)チンチン水抽出物(乾燥物) 0.1%
- (2)アンジェローバ1,3-ブチレングリコール抽出物(乾燥物) 0.3%
- (3)プロピレングリコール 5.0%
- (4)ヒアルロン酸ナトリウム 0.01%
- (5)75%イタノール 残余
- (6)香料 適量
- (7)色素 適量

実施例 13 シャンプー

次の処方に従い常法によりシャンプーを得た。

- (1)精製水 79.5%
- (2)ラウリル硫酸トリイタノールアミン 15.0%
- (3)ヤシ油脂肪酸モノイタノールアミド 5.0%
- (4)ジャポランジ(*Pilocarpus microphyllus*)イタノール抽出物(乾燥物) 0.5%
- (5)香料 適量
- (6)色素 適量

実施例 14 頭皮用乳液

次の処方に従い常法により頭皮用乳液を得た。

- (1)オキシエチレングリコール 1500 2.0%
- (2)トリイタノールアミン 0.7%
- (3)精製水 78.0%
- (4)ステアリン酸 1.2%
- (5)セチルアルコール 0.7%
- (6)ワセリン 2.5%
- (7)スクワラン 5.0%
- (8)オキシエチレン(10モル)モノオレイン酸エステル 1.0%
- (9)プロピレングリコール 2.5%
- (10)チンチンアセトン抽出物(乾燥物) 3.1%

- | | |
|-------------------------------|------|
| (11) タイワンセンダンアセチルアセトン抽出物(乾燥物) | 1.5% |
| (12) 香料 | 適量 |
| (13) 色素 | 適量 |

実施例 15 育毛料

次の処方に従い常法により育毛料を得た。

- | | |
|------------------------|-------|
| (1) イタノール | 67.5% |
| (2) 精製水 | 22.5% |
| (3) ビタミンEアセテート | 0.2% |
| (4) ニコチン酸アミド | 0.05% |
| (5) ステルチオール | 0.05% |
| (6) グリチルレチン酸 | 0.1% |
| (7) センブリ抽出物(乾燥物) | 0.02% |
| (8) エチニルイストラジオール | 4ppm |
| (9) ビタミンH | 0.03% |
| (10) パントテンルエチルエステル | 0.2% |
| (11) センダンメタノール抽出物(乾燥物) | 0.03% |

実施例 11～15の処方の養毛料は、安定性もよく発毛効果に優れたものであった。

〔発明の効果〕

本発明に係る養毛料は、上記のように構成されているものであるから、フケ、発毛、脱毛等の症状に対し優れた効果をもつものである。

出願人 株式会社 資生堂